

「私に今できる細やかなことが、誰かの、それから私自身の幸せにつながっていく」

ニュースレター発送ボランティアに参加して

社会人 チェヨンジン(韓国)

夏が始まり、暑さを肌で感じ始める時期、6月に社会人になってから初めてとなるボランティアに参加しました。

初めてのことは、いずれも不安や期待で胸がいっぱいになるものですが、大人になった今は、この「初めて」というものは中々日常生活には登場しないもので、久しぶりのこの感覚に、朝からかなり緊張していました。ボランティアを申し込んでから、当日までは日々の仕事で、あまりボランティアのことを考える時間がなく、ボランティア前日の夜からやっというろんなことが頭の中を巡っていたのです。「事前にメールで当日の作業について案内がきていたが、よく理解できなかった。当日迷惑かけずしっかり力になれるだろうか」、「みな初めて会う人ばかりだが、控えめな自分が他の参加者とうまくコミュニケーションをとれるだろうか」など、いろんな思いが頭の中を巡っていました。

しかし、ボランティアが終わり、振り返ってみると余計な心配をしたものだと笑う自分がいました。スタッフのみなさんや他の参加者の方はとても気さくでみずから声をかけてくださり、短時間であったもののリラックスできたことと、ニュースレター発送という作業



チェさんがほめて下さったスタッフによる作業の説明です。

は過去長い期間、繰り返し実施してきたため、オペレーションが定着しており、スタッフのみなさんの指示が適切かつ明確で、作業に迷うことはなかったということがその理由です。その結果、効率よく少人数でありながらも予定していた作業量をすべて終わらせることができ、私もその一員として貢献できました。おかげで、初めてのボランティアに参加した自分にとっては、かなりの達成感を得ることができました。



支援者の方へのコメント書きです。これが一番手間のかかる作業なんですが、チェさんもおっしゃるように、一連の作業の中で一番やり甲斐を感じられる作業でもあります。

今回のボランティアで印象的だった点を挙げますと、ボランティア作業を始める前にスタッフから初めてボランティアに参加する人のためにボランティアについての概要、当 NPO が活動において心がけている点など、当日の作業に直接つながるものではない話を時間をかけてして下さったことです。NPO というものは、ボランティアの協力が不可欠であり、そのボランティアをいかに活かすことができるかは、組織運営に直接的に関わってきます。その意味では、日韓アジア基金のスタッフのみなさんはボランティア参加者の参加意欲及び今後の活動継続という点において素晴らしいアプローチをとっていらっしゃると感じました。特に、大澤さんのキャラクターは素晴らしいもので、その人柄に惹かれて活動を継続する方も多いのではないのでしょうか。

そのため、ボランティアは初めて、またはこれからボランティア活動を考えている方にとっては、日韓アジア基金のボランティア活動を初めに、活動を広げていくことはとてもよいと思います。

私自身、ボランティアに参加したきっかけとして、今の職業は、法人がお客様であり勤務強度が高く、個々人の能力が重要視される業界に従事していることから、日々の業務において社会に貢献しているという感覚を感じるには努力が必要であることでした。しかし、今回の活動、それからスタッフのみなさんとの出会いを通じてささやかな私の作業や思いが、その結果としてどれくらい社会に貢献できるか感じる事ができ、私自身にとっても癒しとなりました。たかがニュースレターの発送作業というそれまでですが、その作業を通じてカンボジアの子供たち、ボランティアに参加している人々にどれほど影響を与えるものであるかは、1回の活動だけであっても十分感じる事ができる、素晴らしい活動だと思います。ニュースレターの活動の中に、過去支援したことがある方へのメッセージを自筆で書く作業がありますが、手書きで書いた私の思いが、レターを受け取った方に届き、支援の再開のきっかけとなること。それがまた、支援を必要とする人へ繋がり、つながれた支援によって社会にとってプラスになる作用をもたらす。つまり、私の活動や思いが、世の中の誰かに幸せを届ける。こんなに肯定的な相互作用をもたらすことは、他にありません。ここまで考えが辿り着くと、このような機会を提供して下さった日韓アジア基金の皆様、それから今まで支援してくださっている支援者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになります。

今までのように、これからも組織がよい結果を出し続けられるように、微力ながらも貢献できるといいなと思いました。ありがとうございました。ボランティアに参加して下さったみなさま、これから参加を考慮しているみなさまにとって、私の思いが伝わりますと、それ以上に嬉しいことはありません。という気持ちを込めて・・・

以上